

楽しいラッピング電車がお目見え！ 播但線と「銀の馬車道」

播但線(姫路駅～寺前駅間)に「銀の馬車道」ラッピング電車が走っているのをご存知ですか。

「銀の馬車道」とは、正式名「生野鉱山寮馬車道」といい、明治のはじめ、生野鉱山と飾磨港の間に鉱山で必要な物資や採掘された銀などを運ぶため整備された馬車専用道路で、“日本初の高速産業道路”ともいわれています。播但鉄道(現JR播但線)の開通によって廃れてしまいましたが、最近、周辺地域でふれあいや交流の地域づくりのシンボルとして「銀の馬車道」にちなんだにぎやかなイベントやバスツアーなどが行われています。

ラッピング電車は、“銀馬車号”と沿線で親しまれ、現在、1号・2号が活躍中です。また近々、3号もお目見えとか。姫路駅にお出かけの際は播但線ホームは要チェックです。また、播但線に乗って「銀の馬車道」をめぐる旅にも出かけてみませんか。



1・2号併結



赤が基調の1号



新型車両イメージ

来年春に新型車両が登場！

姫新線は一新して発車！

兵庫県は、沿線市町(姫路市、たつの市、佐用町)やJR西日本と協力しながら「姫新線」輸送改善事業を進めています。平成22年春から高速運転が始まりますが、それに先立って21年春に新型車両が営業運転を開始します。

新型車両は、安全面では車体側面を強化、環境面では排ガス中の窒素酸化物やばい煙を低減する環境対応エンジンを採用しています。また、乗車口のステップをなくすとともに、「車いす対応トイレ」や「車いすスペース」を設置、車内座席を1列シートと2列シートにして、通路幅を大きくするなど、誰もが安心して利用できる車両となっています。外装はステンレスボディに、稲穂をイメージしたイエロー、赤とんぼをイメージしたオレンジ、透明感を出すアクセントのホワイトを組合せたストライプラインを配し、都会的な感じの中に地域色を取り入れています。瀬戸内海側と日本海側を結ぶ姫新線沿線には見どころがいっぱいです。新型車両出発進行一っ！

新型車両シンボルマーク募集

募集期間：9月8日(月)～10月31日(金)
 新型車両の導入を契機として、姫新線に親しみ、沿線地域のマイレール意識を高めることを目的に、この車両に表示するシンボルマークのデザインを募集しています。優秀賞には賞金あり！どなたでも応募できますので奮ってご応募ください。詳しくは、姫新線期成同盟会ホームページ「<http://kishinsen.jp/>」をご覧ください。

ニュース ひめれん

中播磨県民局姫路土木事務所 鉄道高架対策室 TEL.079(281)9548 FAX.079(281)4948

今年度内に姫新線・播但線を高架に切り替えるように関係機関と調整を図ってきましたが、どうにか年内の12月切替で決定しました。これも地域の皆様や鉄道利用者の方々のご協力の賜です。工事は当分の間続きますが、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



姫路のまちがスイスイ、ワクワクに！



高架完成

JR姫新線・播但線高架切替

2008年12月22日

JR山陽本線等姫路駅付近連続立体交差事業



ニュース ひめれん

JR山陽本線等姫路駅付近
連続立体交差事業の情報誌

VOL.9 2008.9



JR姫新線・播但線も高架駅に!

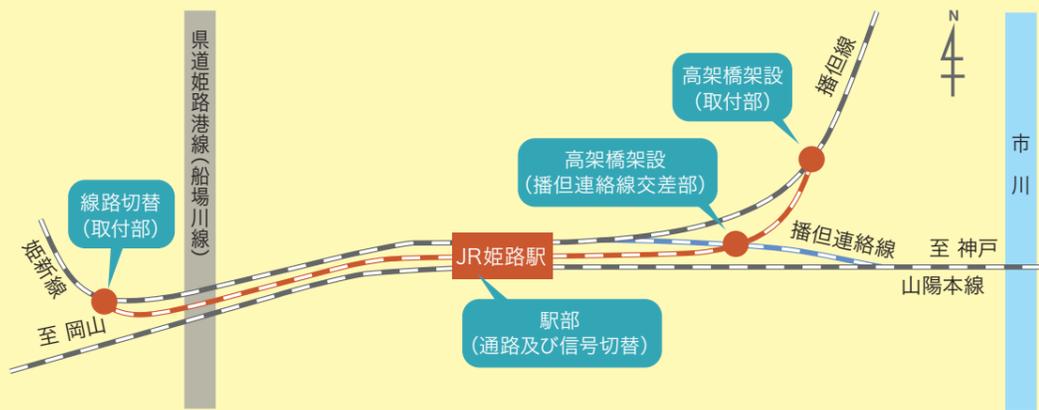
切替工事について

切替工事は、JR姫新線の西側取付部、JR播但線のJR山陽本線からの播但連絡線交差部と北側取付部、それに駅部の4カ所で工事を実施します。
JR播但線の2カ所は、切替時に高架橋の架設を行う大規模な工事になります。

切替工事時間	
●JR姫新線:約6時間	12月21日(日)午後11時半~22日(月)午前5時半頃
●JR播但線:約29時間半	12月21日(日)午前0時頃~22日(月)午前5時半頃



12月21日(日)、JR播但線はJR姫路駅からJR京口駅まで終日運休となりますので、代替輸送バスを運行する予定です。詳細が決まりましたらお知らせします。



高架完成

早朝より

2008年12月22日(月)

JR姫新線・播但線が高架に切替ります。この切替でJR姫路駅周辺の鉄道高架化はすべて完了することになります。いよいよ姫路のまちは南北の地域分断が解消され、大きく変わっていきます。切替工事では鉄道が一部運休になりますが、ご利用の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



完成に向けて工事は大詰めです

完成に向けて、各工事現場は大詰めを迎えています。



JR姫路駅:手前が新・姫新線ホーム



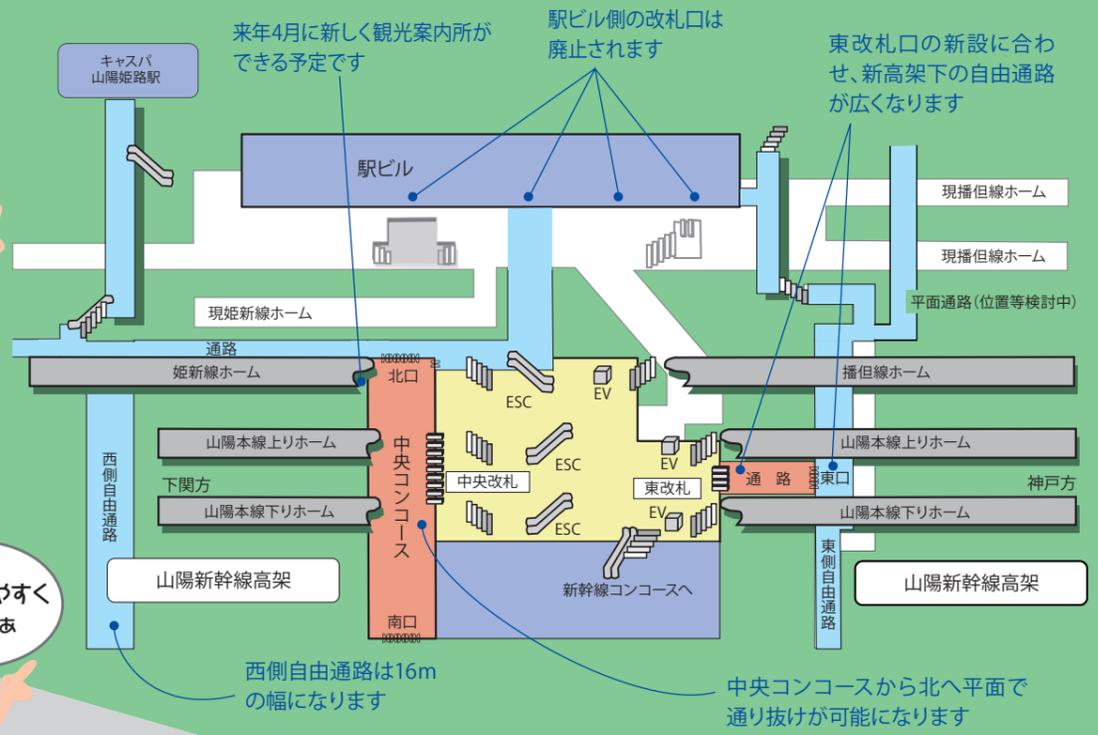
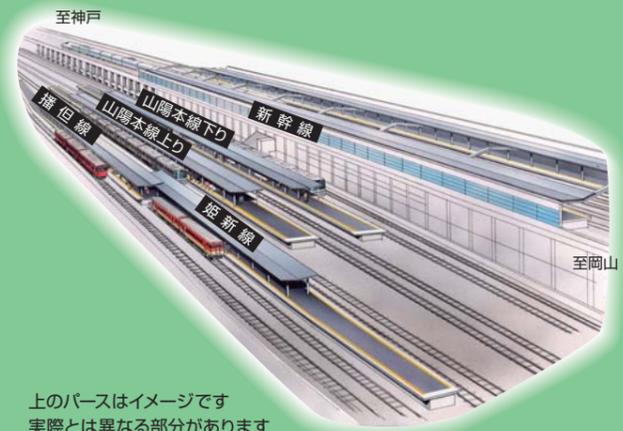
JR播但線取付部:現在、桁製作中



JR姫路駅:現在、建築・設備工事を実施中

JR姫路駅も便利に快適に

現在の姫路駅は、姫新線・播但線と山陽本線、新幹線の間が通路をはさんで離れたところにありましたが、今回の切替でホームがすぐ隣となるため、乗り継ぎの利便性は向上します。
また、駅をはさんで南北の往来は、駅の東西自由通路を使って階段などの昇り降りが必要でしたが、この高架化によって、駅の中央コンコースから南北のバリアフリー(平面)動線が確保されます。



踏切廃止で道路はスムーズに

切替工事と一緒に駅の西にある、「堂の元踏切」「大將軍踏切」「落窪寺踏切」は廃止されます。これにより、特に1日約2万7千台の交通量がある県道姫路港線(産業道路)の渋滞の緩和が期待されます。



現在の大將軍踏切の様子